

## 《死後の世界》 2014.4 月

人間が死後に思う10の内容（伊勢白山道より）

人間が死後に、アノ世でどんなことを思っているのかを、多くの魂を観て来た（著者の）経験から書いて置きます。

(1) 死んでみて、誰も悪く無かったことが真から分かった。

すべてが自分の「ため」であり、自分が原因だっただけなんだ。お父さん、お母さん、本当にごめんなさい。もう1度、生まれ出たい。

(2) 人生で、あんなことでよくよ悩まなければよかったなあ。

人間は、何も悩むことは一切無かったんだ。生まれ出るだけでも、生きているだけでも、もの凄いプレゼントだったんだ。コノ世に生まれさえすれば、後は何にでも感謝して楽しめば良かったんだ。

(3) 他人が自分のことをどう思うかなんて、気にしなければよかった。

他人が思うことばかりを気にして、自分が思うことは気にしていなかった。自分の思う内容を大切にしていなかった。他人は、自分自身のこと一杯であり、私のことなど気にもしていないのが本当さ。

私は、もっと自分のことを考えて上げるべきだったんだ。今生の自分よ、本当にごめんよ。

(4) もっと他人に親切にして、励ますだけでもすれば良かった。

他人に優しい言葉を話し、親にはもっと感謝するべきだったんだ。

死後の世界が、これほど厳格に反射の法則だけで出現しているなんて、誰も教えてくれなかったし、知らなかった。もし、もう1度だけ生まれることが許されるならば、他人を助けることを誓うよ。だって、自分自身を真から救うには、それしか無いのが真実だからさ。

(5) 生きている時に、あんなに心配しなければよかった。

必ず死ぬのに、何を守ろうと自分はしていたのか。どんな懸念があっても、なるように成れ、で本当に良かったんだ。嫌な事、苦しいことほど、今では良い思い出に変わっているし、その時の自分を褒めてあげたい気分になれることが分かったんだ。死後にも、こんな世界が在るならば、心配せずにもっとゆっくり楽しめば良かった。次は、貧乏でも笑い飛ばせる自分を試したいなあ。神様、お願いします！

(6) 他人の言葉よりも、もっと自分の思いを信じればよかったなあ。

他人の言葉を信じて決めれば、必ず後で後悔することが分かった。自分の思いを信じて決めれば、どんな結果でも人生を楽しめるのが分かった。だって、どんな選択も、せっかく神様が自分のために用意してくれていたものだったことが死後に分かったんだ。

神様、次は自分で決めることを誓います。ごめんなさい。

(7) ああ、一瞬一瞬をもっと大切に生きればよかったなあ。

生きている時は、人生は絶望するほど長かったけど、死んでみればほんの一瞬だったことがよく分かった。こんなに直ぐに終わる人生ならば、もっと全力で走りながら楽しめば良かったなあ。

何も恐れるものなど無いのが真実だったんだ。自分は何を恐れて、人生に絶望したんだろうか。もう紙芝居にはダメされずに、ただ感謝して生きることには挑戦したいな。

(8) 他人と言い争いなどしなければよかったなあ。

他人に文句を言わずに、ただ見守ってやれば良かったんだ。

他人とケンカせずに、違う他人と自分で楽しめば良いだけだったんだ。

他人との別れは突然に来るから、他人には良い言葉だけを話す人生を次は送りたいな。

どんな他人でも今生で出会うということは、これほど深い縁のガンジガラメだとは想像していなかった。

自分の方が、今回は謝ればちょうど良かったんだ。その前の過去生の時の他人よ、アノ時はごめんね。今回も怒ってしまったけど、自分が引けばお互いにイーブンだったんだよね。

(9) もっと他人のために何でも尽くせばよかった。

他の人のために行くことは、それは自分自身を救っていたんだな。今生は、他人から取ることばかりを考えていたから、死後の自分には何も残されていなかったよ。死後には、これが他の魂から一目で分かるから、今のみすぼらしい自分が本当に恥ずかしいよ。そして、もっと幸福に感謝して生きればよかったな。幸福は、やって来るものではなくて、自分で創造するものだったことが死後によく分かった。自分の感謝の気持ちで創られるものであることを、生前に知りたかったなあ。

(10) もっと自分自身を大切に扱えばよかったな。

自分をイジメてばかりいた。クヨクヨ悩み、自分に絶望し、他人を非難し、食べる物も配慮せずに、心身ともに自分で自分をイジメていたことに気付いた。これにより、多くのチャンスを自分で潰していただけたんだ。でも、死んだ今では遅いんだ。神

様、今回は健康な体に生み出してくれて有り難うございました。それなのに、大事にしないでごめんなさい。もう1度だけ、挑戦したいな。

以上の内容を信じる必要はありません。私から言えますことは、「これが答えです」。

ただ、すべての言葉に共通する内容に気付いて頂ければ幸いです。

生きている間に、自分の人生経験を通じて、自分に共通する内容に気付いて頂ければ幸いであり十分です。人間は、自分が経験したことは深くよく理解します。

伊勢白山道(ペンネーム)さんは中部地方で活躍されているビジネスマンです。数多くの著書がありますので是非ご覧ください。心の平穏が得られると思います。

この死後の世界が実在するのかどうかは科学的には検証されておられません。私は若い頃は、「あの世が無い派」でしたが、社会人になる前に「あの世がある派」に転向しました。どう考えても後者の方が合理的で幸せな人生を送れると考えたからです。「あの世が無い派」であった時には死に対する恐怖から解放されませんでした。年をとるのが怖かったことを記憶しております。ところが30年近く前に、「あの世がある派」に転向してからは、いつ死を迎えても動じない自分を徐々に作ってこられたと実感しております。またこの度、5/9に開催(千代田区御茶ノ水)が決定しました「前世療法と退行催眠で本当のあなたがわかるヒーリングセミナー」の講師の陣野智巳先生にお会いしてから、死後の世界は科学的には検証はされていませんが、確実にあると実感しました。10の過去世を映像で思い出し、その悉くが今世の性格や人生に影響していることが理解できました。また、遡った過去世が自分のイメージしていた世界とはかけ離れており、自分の脳内イメージが作り出したものではないことも認識できました。

折角この世に生まれてくる事が出来たのですから、目いっぱい全力で生き切って、あの世へ旅立とうではありませんか！

ということで、上記セミナーの開催と、その後5/20までの約10日間、ご希望される方には退行催眠をお受けいただくことが出来るよう手配させていただきました(有料)。過去世までたどり着く必要のある方は3次元より高次の世界にいかれるようですが、時間の観念が無くなるため浦島太郎状態になります。ご自身の実感時間が1時間であっても実質時間が4~5時間経過していたなどということがざらにあります。従って1日に1名限定となります。

セミナーあるいは退行催眠にご興味のある方は巻末のご案内に従ってお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。